

平成三十年度 後期選抜 学力検査

国語聞き取り検査放送用CD台本

(チャイム)

これから、国語の学力検査を行います。まず、問題用紙の1ページと2ページがあることを確認しますので、放送の指示に従いなさい。

(2秒空白)

では、問題用紙の1ページと2ページを開きなさい。

(3秒空白)

確認が終わったら、問題用紙を閉じなさい。1ページと2ページがない人は手を挙げなさい。

(10秒空白)

次に、解答用紙を表にし、受検番号、氏名を書きなさい。

(20秒空白)

最初は聞き取り検査です。これは、放送を聞いて問い合わせに答える検査です。問題用紙の1ページと2ページを開きなさい。

(4秒空白)

一 吉村さんの学級では、「ちばアクアラインマラソン」を応援する横断幕に書くキャッチフレーズを決めています。「ちばアクアラインマラソン」は、東京湾を横断する海上の道路を走るマラソン大会です。これから、話し合いをしている場面と、それに関連した問い合わせを四問放送します。よく聞いて、それぞれの問い合わせに答えなさい。

(2秒空白)

なお、やり取りの途中、(合図音A)という合図のあと、問い合わせを放送します。また、(合図音B)という合図のあと、場面の続きを放送します。

1ページと2ページの余白にメモをとつてもかまいません。

では、始めます。

吉 村 前回は、海の上を走るマラソンの魅力を伝えるキャッチフレーズにする、ということで、キャッチフレーズの候補を二つに絞りました。一つは「海と走る 海を走る」。もう一つは「君よ今 アクアラインの風になれ」です。今日は、キャッチフレーズをどちらかに決定します。まず、それぞれのキャッチフレーズの推薦者から再度、意見を聞きます。そして、話し合って決めます。それでは、田中さんからお願ひします。

田 中 僕は「海と走る 海を走る」を推薦します。「海と走る」と「海を走る」という似た言い方の繰り返しをすることで、リズムが生まれ、印象的なキャッチフレーズになっています。また、「海と走る」は海と一緒に走っている姿を想像させ、「海を走る」は海の上を走るアクアラインマラソンの魅力そのものを表現

しています。「と」と「を」を使い分けるだけで表現が豊かになります。

(合図音A)

問い合わせの(1) 田中さんの説明の仕方について述べたものとして最も適当なものを、選択肢A～Eのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

(18秒空白)

(合図音B)

吉 村 次に、木内さん、お願いします。

木 内 私は、キヤツチフレーズは、心に残るものがよいと思います。「君よ今 アクアラインの風になれ」は、五・七・五のリズムになつていて心に残り、親しみがもてます。また、「君よ」と呼びかけることで、自分に言わわれているようで、参加者の関心を引くと思いますし、ランナーたちを応援する言葉にもなつてていると思います。だから私は「君よ今 アクアラインの風になれ」がよいと思います。

(合図音A)

問い合わせの(2) 木内さんの発言の構成や展開について述べたものとして最も適当なものを、選択肢A～Eのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

(15秒空白)

(合図音A)

問い合わせの(3) 田中さんと木内さんの推薦理由に共通する点について、問題用紙の空欄に三字で言葉を補い、完成させなさい。

(12秒空白)

(合図音B)

吉 村 二人ともありがとうございました。

(合図音A)

問い合わせの(4) 1のあと、司会の吉村さんは、どのように話し合いを進めていけばよいですか。最も適当なものを、選択肢A～Eのうちから一つ選び、その符号を書き

なさい。

(5秒空白)

放送は以上です。3ページ以降も解答しなさい。

※注意 各ページの全ての問題について、解答する際に
字数制限がある場合には、句読点や「」などの
符号も字数に数えること。

著作権者への配慮から、
現時点での掲載を差し
控えております。

「ちばアクアラインマラソン 2016 実施報告書」より

(1) (問い合わせを放送します。)

〔選択肢〕

ア このマラソンの目的を説明して、目的を表すのにふさわしい表現の仕方について述べている。

イ このマラソンの魅力を最初に挙げて、どのようなイメージを伝えたいかを明確に述べている。

ウ キャッチフレーズの特徴を明確にし、そこに込められた選手たちの心情を詳しく述べている。

エ キャッチフレーズに込められた表現の工夫を具体的に説明し、その効果について述べている。

(2) (問い合わせを放送します。)

〔選択肢〕

ア 長所や短所を整理した後、推薦理由を具体的に述べている。

イ 根拠をもとに自分の考えを述べて、結論に結び付けている。

ウ 相手の意見との相違点を整理し、最後に結論を述べている。

エ 自分の体験を述べ、その体験を推薦理由と結び付けている。

(3) (問い合わせを放送します。)

どちらのキャッチフレーズも、
□があるという特徴を
もつていていること。

(4) (問い合わせを放送します。)

【選択肢】

ア 二つのキャッチフレーズの問題点に着目させ、改善しながらキャッチフレーズを一つに絞る。

イ みんなの意見と自分の考えを比べてどちらがよいか、司会がキャッチフレーズを一つに絞る。

ウ 二つの推薦理由を整理して、他の人から質問や意見を求めてキャッチフレーズを一つに絞る。

エ キャッチフレーズの候補を他に挙げさせ、二つの案と比べてキャッチフレーズを一つに絞る。

聞き取り検査終了後、3ページ以降も解答しない。

―― 次の(1)～(4)の漢字の読みを、ひらがなで書きなさい。

- (1) 貪る|ように本を読む。
- (2) 今年の冬は殊に寒い。
- (3) 穏便に取り計らう。
- (4) 海岸に押し寄せる魚を一網打尽にする。

三 次の(1)～(5)のカタカナの部分を漢字に直して、楷書で書きなさい。

- (1) ごはんをよくムラす。
- (2) 体操で体を弓なりにソラす。
- (3) 鉄道のウンチンを調べる。
- (4) 客船がキテキを鳴らす。
- (5) ランオウに砂糖を混ぜてお菓子を作る。

四 次の文章を読み、あとの(1)~(6)の問い合わせに答えなさい。

著作権者への配慮から、
現時点での掲載を差し控えております。

著作権者への配慮から、
現時点での掲載を差し控えております。

(足立卷一『親友記』による。)

(注1) 大連＝中国の都市名。満磨が転校前に住んでいた場所。

(注2) 元町＝兵庫県神戸市にある商店街。

(注3) この君＝ここでは「わたし」を指す。「君」は敬称。

(注4) おべんちやら＝軽薄なお世辞。

(注5) 棚色＝色があること。

(注6) 充填＝ものを詰めて満たすこと。

(1) 文章中の A に入る言葉として最も適当なものを、次のア～工のうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 困 惑 イ 満 足 ウ 軽 蔑 エ 感 心

(2) 文章中に 赤の色がおもしろいね。神経が出てるよ とあるが、この言葉から教師のどのような意図が読み取れるか。最も適当なものと、次のア～工のうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 「わたし」の絵に興味を示すとともに、その長所を伝えることで「わたし」に努力をさせたい。

イ 「わたし」の絵をほめる一方で、皮肉を込めつつ満磨の絵の欠点を指摘し、二人を競わせたい。

ウ 「わたし」の絵をほめて自信をもたせる一方で、満磨に謙虚さをもたせ、基礎から学ばせたい。

エ 「わたし」の絵をほめるとともに、絵を描くことの本質を示すこと

(3) 文章中に わたしはどんな油絵よりも、たつた一枚だけの満磨の水彩画に感心した とあるが、「わたし」は満磨の水彩画のどのようなことに感心したのか。最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 満磨の絵が、これまでの筆使いにさらに磨きをかけ、自分の個性を表現している絵となっていたこと。

イ 満磨の絵が、今まで身に付けてきた技術を捨てた末に、自分の思いが込められた絵となっていたこと。

ウ 満磨の絵が、これまでと違う水彩画で表現されたことで、より繊細な描きぶりの絵となっていたこと。

エ 満磨の絵が、今までとは全く違う単純な構図を用い、写真のように美しい色調の絵となっていたこと。

(4) 文章中に ……よし D とあるが、この表現に込められた満磨の心情を説明したものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 自分の絵が「わたし」に評価され、絵に対する自信を深めている。

イ 自分の絵が「わたし」にほめられ、すっかり有頂天になっている。

ウ 自分の絵が「わたし」に理解され、和睦できたことを喜んでいる。

エ 自分の絵が「わたし」に認められ、競争心をかき立てられている。

(5) 文章中に 満磨の一言が、身うちがゾクゾクするほどうれしかった とあるが、「わたし」はなぜうれしかったのか。「共感」という言葉を使つて二十字以上、三十字以内で書きなさい。

(6) この文章について説明したものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 絵画に自信をもつている主人公の姿を、心情を表した比喩を用いて描いている。

イ 少年たちが絵画に真剣に取り組む姿を、五感を通してみずみずしく描いている。

ウ 主人公の少年時代の思い出を、視覚的なイメージを効果的に用いて描いている。

エ 二人の少年の激しく揺れ動く心の内を、はずむような会話を通じて描いている。

五

次の文章を読み、あと(1)～(6)の問い合わせに答えなさい。

著作権者への配慮から、
現時点での掲載を差し控えております。

著作権者への配慮から、
現時点での掲載を差し控えております。

著作権者への配慮から、現時点での掲載を差し控えております。

(小川軽舟『俳句と暮らす』による。)

(注1) 金盥=金属製のたらい、洗面器。

(注2) 木槿=生け垣や庭木として植える、アオイ科の落葉低木。白木槿は、その花の色が白いもの。

(2) 文章中から次の□の一文が抜き出されている。入るべき場所として最も適当な箇所を、文章中のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

その情景をきっかけに、私の記憶は息づき始める。

(3) 文章中の「金盥傾け千すや白木槿」は秋の句であるが、俳句で秋の季語として用いられる言葉を、文章中から二字で抜き出して書きなさい。ただし、この俳句に用いられている言葉以外から抜き出すこと。

(4) 文章中の□Aに入る言葉として最も適当なものを、次のア～

工のうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 他方で イ このように
ウ 言い換えれば エ なぜなら

- (1) 文章中の ような と同じ意味で使われているものとして最も適当なものを、次のア～工のうちから一つ選び、その符号を書きなさい。
ア 彼はまだ決心できないような表情をしている。
イ 土手に線香花火の ような彼岸花が咲いている。
ウ あなたとは以前にお会いした ような気がする。
エ 時間通り到着できる ような計画を立てている。

(5) 文章中に 何もなかつた日、日常そのものだつた日のことは思い出せない とあるが、このことについて、筆者はどのように考へてゐるか。最も適當なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

B

ア 答者は、記憶とは適当に忘れてしまうものだと自覺しているので、思い出せないものは仕方ない、と考えてゐる。

イ 答者は、記憶は消え去つていくものと認識してゐるので、特別な出来事の記憶だけは失いたくない、と考えてゐる。

ウ 答者は、どのような日でも記憶の抽斗は必ず開かれると信じているので、平凡な日も大切にしたい、と考えてゐる。

エ 答者は、ごく普通の日常にも価値を感じてゐるので、思い出せないと気がかりで心が落ち着かない、と考えてゐる。

(6)

筆者のいう俳句とはどのようなものか。それを説明した次の文の I 、 II に入る言葉を、文章中の言葉を用いて書きなさい。ただし、I は七字以内で書き、II は「豊か」という言葉を使って十字以上、二十字以内で書くこと。

俳句そのものは、限定された十七音の言葉が I をもつだけのものだが、忘れる記憶を II ものである。

六 次の文章を読み、あと(1)～(4)の問い合わせに答えなさい。

(1) 文章中の いにしへ を現代仮名づかいに改め、全てひらがなで書きなさい。

いにしへの事にや。京都に浦井(さるゐ)何某(なまか)といへる町人と、又鍼医(はりい)に何とや

らんいふものと、園池(そのいけ)三位卿(さんみやう)と三人、常々花鳥風月の友なりしが、あ

る時、浦井より医者のもとへ鯉魚(りきょ)を送りけるを、この医、又園池殿へ進

(鯉)

上せり。園池殿にも見事なる鯉なればとて、又浦井が方へ給はりぬ。浦

井は我もとより送りし魚なれば、よくも見覚えたるや。かの鍼医を招

き、某(それがし)ここころざして参らせたる鯉を、料理はなさで、園池殿へは送り

給ふといへば、医も驚き何として知れたるといふに、右の由(よ)を咄(はな)して笑

ひける。この事、三位殿聞き給ひ、浦井に見せよとて、

(事情)

はり先にかかりし魚をその池へはなせばもとの浦井へぞ行く

(『牛馬問』による。)

(3) この話のおもしろさを説明した次の文の □ I と □ II に

入る言葉を書きなさい。ただし、□ I は文章中から二字で抜き

出し、□ II は十五字以内で書くこと。

自分が贈つた鯉魚が、だれにも □ I されることなく、結局は □ II こと。

(4) 最後の短歌が表現していることとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 文章中の出来事について、登場人物を表す言葉をたとえに使い、遊び心を用いつつ表現している。

イ 文章中の登場人物の心情を、その人物に関係あるものにたとえておもしろおかしく表現している。

ウ 文章中の出来事から得られた教訓について、しゃれを効果的に織り交ぜ、印象深く表現している。

エ 文章中の登場人物の生き生きとした言動を、さまざまな表現技法を駆使して力強く表現している。

七 次の二つの意見を読んで、あとの〈条件〉にしたがい、〈注意事項〉を

守って、あなたの考えを書きなさい。

〈条件〉

① 一段落構成とし、七行以内で書くこと。

意見 A
「私は、友だちとの会話の中では、互いの考えていることを、できるだけ言葉に表して伝え合うのがよいと思います。」

意見 B
「私は、友だちとの会話の中では、互いの考えていることを、全部は言わなくても、できるだけ察し合つて心を通わせるのがよいと思っています。」

なお、どちらを選んでも、そのこと 자체が採点に影響することはありません。

〈注意事項〉

- ① 氏名や題名は書かないこと。
- ② 原稿用紙の適切な使い方にしたがつて書くこと。
ただし、――や＝などの記号を用いた訂正はしないこと。

五		四				三	二	一	番問題	
I わずかな情報量	(1) イ	(6) ウ	(5)	(2) ウ	(1)	(1)	(1)	(1)	正解	
	(2)		満磨が苦悩の末に描き上げた絵のすばらしさに共感できたから。	工	蒸	むさぼ	工	(2)		
	ウ			(3) イ	(2)	(2)	イ			
	(3)			(4) ア	反	こと	(3)			
	残暑				運賃	(3)	リズム	(4)		
	(4)				(4)	おんびん	ウ			
	ア				汽笛	(4)	いちもうだじん			
	(5)				(5)	卵黄				
	エ									
4	各 3	4	5	各 4	3	各 2	各 2	各 3	配点及び注意	
部分点を与えててもよい。 同趣旨ならば正解とする。	(2)はウだけでも点を与える。		同趣旨ならば正解とする。 部分点を与えててもよい。					(3)は同趣旨ならば正解とする。		
24		24				10	8	12	計	

合計	七	六		
	(解答例)	(3) II 自分のもとに戻つてしまつた (4) ア	(1) いにしえ (2) 花鳥風月の友	(6) II 豊かに思い出させるきつかけになる
	私は、意見Aが大切だと思います。なぜなら、考えていることをきちんと言葉に表して伝えなければ、誤解が生じてしまうことがあります。私は、友だちとのコミュニケーションにおいては、言葉を通じて、自分の意思を伝え、相手の考え方を理解することを大切にしています。	私は、意見Bが大切だと思います。コミュニケーションの中では、言葉にできないような思いが表情やしぐさなどに表れることがあります。私は、友だちとのコミュニケーションにおいては、言葉を用いなくとも、相手の気持ちを理解して、心と心を通じ合わせる姿勢を大切にしています。	各3	2
		(3) IIは同趣旨ならば正解とする。 部分点を与えてよい。 以下の観点を参考に、採点基準の細部については各学校で定める。 ○内容 ○字数制限・段落構成 ○表現・表記 ※全ての条件を満たしていない場合でも、部分点を与えてよい。	各2	5
		同趣旨ならば正解とする。 部分点を与えてよい。		